

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
桜川市	水道事業	桜川市水道事業

実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

平成26年度に包括的に業務委託を検討したところ、予算的に難しいため再検討となった。

（今後の経営改革の方向性等）

市の総合戦略により市内の整備開発が計画されていることから、水道の普及率と有収率の更なる向上を図る必要があり、運営体制の見直しについても検討が必要となる。

その他の民間活用の取組状況

実施済		（事業の概要）	（取組の方式等）	（実施（予定）時期）
実施予定				平成 年 月 日
検討中	○	（事業の概要）	（検討状況・課題）	
		検針から開閉栓及び料金徴収までの業務委託	包括的に業務委託を検討したいところだが、予算的に厳しい面があるので、どこまで委託できるかが検討課題となる。	

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
桜川市	下水道事業	公共下水道事業

実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

抜本的改革の必要性は認知しているが、下水道整備事業も継続中であるため、当面は現行の経営体制を維持していく。

（今後の経営改革の方向性等）

経営戦略の策定等を推進する。抜本的改革については、改革の必要性について検討を行っていく予定である。

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
桜川市	下水道事業	農業集落排水事業

実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

現在の運営状況を維持し、現行の体制を継続していく予定である。

（今後の経営改革の方向性等）

経営戦略の策定等を推進していく。当面は経営を維持していく予定である。

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
桜川市	下水道事業	特定地域生活排水処理事業

実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

現在の運営状況を維持し、現行の体制を継続していく予定である。

（今後の経営改革の方向性等）

経営戦略の策定等を推進していく。当面は経営を維持していく予定である。